

日 田 商 工 会 議 所 工業建設振興特別委員会記録

1. 日 時 令和 6年 1月17日(水) 9時30分

2. 場 所 日田商工会議所 4階 議員サロン

3. 出席者名 (委員長) 高嶋 秀武
(会 頭) 十時 康裕
(担当副会頭) 河津 龍治
(専務理事) 樋口 恒成
(副委員長) 江藤 秀平
(委 員) 諫本 憲司、中村 広樹、伊藤 哲司、宇野 弘士、頓宮 正敏、
浦中 直也、高倉 頼利、横山 俊英、吉野 克己、高倉 貴子
(事務局) 伊藤 宏、春口 国博、中島 真介

4. 議 題 (1)本年度の委員会活動について(報告)
(2)次年度の委員会事業と予算について
(3)その他

5. 議事概要

定刻となり、事務局より開会を告げる。

開会に際し、高嶋委員長並びに河津副会頭よりあいさつがなされ、高嶋委員長が議長となり、議事の進行にあたる。

議題(1)令和5年度委員会事業について(経過報告)上程。事務局より口頭にて、日田就職ガイドの配布・活用状況と、今後実施予定である掲載企業アンケートの計画について説明がなされる。

加えて、委員長より、高校の進路指導教諭との懇談会は、今年度の開催は時期的に難しいため、懇談会の開催は取り止め、就職ガイドのPR活動に振り替えたいとの提案がなされ、諮るに異議なく了承される。

議題(2)次年度の委員会事業と予算について、上程。前年度(令和5年度)の予算要求書を参照しつつ、委員長より以下の提案がある。一つ目の委員会事業は就職ガイドの発行を柱にして、そこに付随する活動(例えば、高校への配布や合同企業説明会での活用等)にも注力したい。二つ目は、U・I・Jターンの若者向け相談窓口創設事業にジョブカフェと連携しつつ引き続き取り組みたい。三つ目として、委員全員が参加できる事業ができないか、と以前より考えており、一つの例として視察研修を企画してはどうだろうか、と考えているところである。令和5年度は正副委員長と事務局で協議しながら事業を遂行するばかりで、委員の皆さんに携わって頂ける部分が少ないのではないかと感じていたところであり、聞くところによると、来月は商業振興特別委員会が視察

研修を予定しているとのことで、それに触発されての提案である。皆様の意見をお聞かせ頂きたい。

ここで、委員長より、委員会開催に先駆けて実施した委員の皆さんへのアンケート調査について報告がなされ、新規事業の提案を頂いた高倉(貴)議員に説明を求める。高倉(貴)議員より、U・I・Jターン対策も重要だが、日田市への移住策(空き家対策)や商店街の活性化(空き店舗対策)等への取り組みを検討してはどうか、と考えている旨の話しが行なわれる。

江藤副委員長並びに高倉(頼)議員より、移住や空き店舗対策は従前より行政(日田市)が熱心に取り組んでいる部分であり、市内のNPO等に業務委託して事業を展開し、すでに様々な施策が実行されており、委員会として取り組む余地はないように思われる旨の話しが行なわれる。

委員長からも、提案頂いた事項は重要ではあるが、当工業建設振興特別委員会の研究テーマとは少々かけ離れている印象もあるため、委員会事業としては採用を見送りたい旨の提案がなされ、諮るに異議なく了承される。他の新年度事業に関しても意見等なく、委員長の提案通り承認され、予算については、正副委員長と事務局へ一任され、当年度の予算執行状況と新年度の事業費の見積もり等を参照して計上することとなる。

最後に高嶋委員長より、新年度の委員会事業にも引き続き特段のご協力を賜りたい旨お願いし、会議を終了した。

以上

(10時30分)